



## 胸部に放射線治療を受ける方へ

	放射線宿酔（酔い）	皮膚炎	放射線肺炎	食道炎	
1週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り物酔いのような症状が出ることがあります。</li> <li>・身体がだるく疲れやすくなることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療部位の皮膚は弱っています。</li> <li>・熱い湯、長時間の入浴は避けましょう。</li> <li>・入浴剤の使用はお控えください。</li> <li>・刺激の少ない（弱酸性）石けんを使い、よく泡立ててからなでるように洗いましょう。</li> <li>・お体を拭く際は、タオルで押さえるようにしてこすらないようにしましょう。</li> <li>・下着は締め付けのない補正下着やスポーツブラなどの柔らかいものを着てください。</li> <li>・皮膚が赤くカサカサになることがあります。</li> <li>・かゆみや赤みが出たら医師に相談してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咳や痰が多くなることがあります。</li> <li>*症状が出たら医師に相談してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早食いや早飲みは粘膜を刺激するため、ゆっくりよく噛んで食べるようにしましょう。</li> </ul>	
2週目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調に合わせた生活を送りましょう。（治療開始後1～2週間経過すると改善することが多いです。）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のつかえ感、のどの痛み、胸やけを感じる場合があります。</li> <li>・刺激物が少ない柔らかい食事をよく噛んで食べるようにしましょう。</li> </ul>	
3週目					<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱すぎたり冷たすぎるもの、酸味や刺激の強いもの、固すぎるものはお控えください。</li> <li>*辛いときは我慢せずに医師に相談してください。</li> </ul>
4週目					<p style="text-align: center;"><b>アルコールは粘膜を刺激、たばこは気管を刺激するため禁止してください</b></p>
5～6週目					<ul style="list-style-type: none"> <li>・かゆみや赤みが強くなる場合があります。</li> <li>・治療部位にはテープや湿布、冷却シートなどを張らないようにしましょう。</li> </ul>
治療終了後		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かゆみや赤みが続きます。</li> <li>・1か月程度で改善します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つかえ感やのどの痛み、胸やけが続きます。</li> <li>症状の改善には2～3週間程度かかります。</li> </ul>		

\* お体の印は治療の際、確実に正確に放射線を照射するための大事な印です。恐れ入りますが印はこすらないようお願い致します。

印が消えてしまった場合、自分で書いたり貼ったりしないでください。技師が照射前に印を書き足します。

\* 治療部位の皮膚が弱っているため温泉、プール、サウナ、岩盤浴、海水浴は禁止です。

\* 治療部位は直射日光を当てないようにしましょう。

\* 身体がだるく、疲れやすくなることがあるので、十分な休息を心掛けましょう。

\* 栄養のバランスが取れた食生活を心掛けましょう。

医療法人DIC 宇都宮セントラルクリニック

放射線治療センター

TEL 028-657-6700

FAX 028-657-6702

(平日 9時～16時30分)